

令和4年度 下忍地区 市民と市長のタウンミーティング

<開催概要>

1. 日時 令和4年5月18日(水曜日)午後6時30分～午後7時45分
2. 場所 下忍公民館ホール
3. 自治会出席者 9人
4. 市側出席者 市長、副市長、総合政策部長、建設部長

<要望等回答一覧>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
1	【少子化における学校教育について】 下忍小が今後合併するのかわか。	教育総務課	現在、小学校の再編成については、平成31年3月に策定した「行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」に基づき進めており、下忍小学校については今後の児童数の推移に注視し、学校再編成を進めてまいります。

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
2-1	【高齢化社会における福祉政策について】	高齢者福祉課	<p>令和4年4月1日現在、本市の人口は79,021人であり、うち高齢者人口は25,573人、全人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は32.4パーセントとなっております。</p> <p>高齢者人口や高齢化率は年々増加し、本市の高齢化率は、団塊の世代が75歳以上となる2025年には33.7パーセント、団塊の世代ジュニアが65歳以上になる2040年には38.7パーセントになると見込まれ、1人の高齢者に対し3人に満たない現役世代で支える状況になると見込まれているところです。</p> <p>併せて、ひとり暮らし高齢者や認知症の高齢者など支援を必要とする方の増加も見込まれる中で、誰もが可能な限り住み慣れた地域で、安心して自分らしく人生の最期まで生活していただくためには、様々な取り組みが必要です。</p> <p>市では、高齢者の皆様が、いつまでも元気で生活するための健康づくりや介護予防事業などに注力し、自立支援、重度化防止の取り組みを推進するとともに、支援が必要になった際に、公的なサービスだけでなく、地域で「我が事」として支え合えたり、「受け手」「支え手」を超えた支え合いができるよう、地域住民や事業者などと支え合いの地域づくりの醸成を進めております。</p> <p>また、少子高齢化の進展により、福祉課題も複雑化・多様化する中で、本年度には、地域共生社会推進室を新たに設置し、高齢者を含めた福祉分野の相談支援体制の充実を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる体制整備を進めております。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
2-2	<p>①国では定年延長の話が出ているが、定年を迎えた後に市内で働く場所がない。</p> <p>②地域の生活の場のこと、子供の通学路のこと、高齢者の買い物支援(運転免許証返納)のことなど、トータル的に見ていかないといけない時代になっていると思う。市には、これからもさまざまな問題に取り組んでいただきたい。</p>	<p>企画政策課 (総合政策部長)</p>	<p>①国が据えた地方創生ではサブタイトルに「まち・ひと・しごと」という言葉があり、これは「まちには仕事がないと人が集まらない」という発想です。働く場所の確保について、企業誘致、産業誘致を考えないとなりません。第6次行田市総合振興計画では、産業を誘致したいゾーンを設けております。また、若小玉地区に県と共同で産業団地の造成を進めており、長い目をもって企業誘致に取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>②ご指摘のとおり、「縦割り」ではなく「横串」で考えなくてはなりません。市では4月に地域共生社会推進室を設置しましたが、これは福祉分野についていえば、例えば「障害がある」「介護が必要」という方に対し、それぞれの分野で縦割りで考えずにトータルで問題に対応しようというものです。この考えは、福祉分野に限るものではありません。人の居場所づくりとして商店街の方々に協力していただくという先行事例もあります。市では、部や課の枠を越えてトータル的に考えていきたいと思っております。</p>
3-1	<p>【生活道路の整備(市道9・1-5号線)(令和2年12月要望)の進捗状況について】</p> <p>下忍小学校の通学路に指定されている。登下校時は通勤等の自動車の通行も多く、大変危険な状況になっている。</p>	<p>道路治水課</p>	<p>通学路の整備につきましては、令和3年度に市内全域で通学路合同点検を実施し、その結果に基づき計画的に進めています。ご要望の市道第9・1-5号線の下忍小学校の通学路につきましては、本年度、渡辺商店から南へ延長約200メートルの区間の路線測量、現況測量及び詳細設計等を実施する計画となっております。また、道路工事につきましては、来年度からの事業着手を予定しております。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
3-2	<p>歩道がなく、通学路のところに空き家になっている民地から樹木が生い茂っている状態である。通勤時に車両の通行量も多いため、安全対策を強く願います。市には何度も要望しているが、自前で剪定することもある。</p>	<p>管理課 (建設部長)</p>	<p>ご連絡いただければ、随時地権者に対し、剪定や伐採などをするようお願いをしています。これまでに何度もご連絡をいただいているとのことですが、その都度、職員が現地を確認しますので、ご連絡ください。</p>
4	<p>【市内循環バスの停留所増設について（令和元年12月16日要望）及び進捗状況について】</p> <p>現在、堤根地区停留所は「堤根農村センター前」の1カ所だけである。行田市の日本遺産である石田堤駐車場内であれば設置は可能と思われる。</p>	<p>交通対策課</p>	<p>市内循環バスについては5年に1度の見直しを行うこととしており、利便性の向上による利用者の増加を図る中で本年4月1日からルート及びダイヤの改定を行いました。市内全線において、路線バスと重複するルートの解消や、20日間の乗降調査による乗降者数10人以下のバス停の運行ルートを見直しするなどして、1便当たりの運行時間を短縮することとしましたことから、運行時間や距離が延長となる石田堤付近へのバス停設置は実現に至りませんでした。</p> <p>行田市では、バス停までの移動が困難な方の移動手段の確保として、市内循環バス運行事業を補完する、市内在住の75歳以上の方及び障害者を対象としたデマンドタクシー事業を行っておりますことから、両事業を併用して御活用いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、今後、次期行田地域公共交通計画を作成する中で、バス停や運行ルートなどの見直しに反映させてまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
5	<p>【小学校の統廃合について】</p> <p>子供の数が減る中、市全体として今後どのように統合していくのか。</p>	教育総務課	<p>現在、小学校の再編成については、平成31年3月に策定した「行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」に基づき進めております。</p>
6-1	<p>【忍川改修事業計画について】</p> <p>一級河川忍川改修事業計画の要望に対してはすでに回答をいただいているが、検討中の樋上2号橋の架け替え及び調整池外周の管理用道路幅5メートル歩道付きの整備を要望する。</p>	道路治水課	<p>橋梁の修繕等については、市が管理する橋梁695橋について定期点検を実施し、橋梁長寿命化計画に基づき、利用状況や安全性等により優先順位つけて計画的に実施しております。樋上2号橋につきましては、令和3年2月の橋梁点検により老朽化による損傷が見られることから、行田県土整備事務所の忍川の整備計画等を踏まえた上で、架け替えや修繕等の措置を検討してまいります。</p> <p>調整池外周の管理道路につきましては、現在のところ行田県土整備事務所から、幅員4メートルの道路を計画していると聞いております。ウォーキング等で安心してご利用いただけるよう河川管理者と協議してまいります。</p>
6-2	<p>①管理用道路の国による補助は3メートルと聞いているが、そのとおりか。</p> <p>②国の補助に上乘せして、車がすれ違えるように、また散策できるように幅5メートル歩道付きの道路としてほしい。</p>	<p>道路治水課</p> <p>(建設部長)</p>	<p>①調整池外周の管理用道路について、国の補助を活用する際には、3メートルとされているが、(変わったかどうかは)県土整備事務所に確認いたします。</p> <p>②ご要望の内容については、(6-1の)回答のとおり今後行田県土整備事務所と協議してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
7	<p>【調整池の利用計画について】</p> <p>調整池の計画での、市としての調整池の利用計画を伺いたい。</p>	道路治水課	<p>埼玉県行田県土整備事務所からは、調整池の整備について、令和8年の完成予定と聞いております。</p> <p>調整池の底面利用につきましては、現在のところ、具体的な内容は未定でございますが、調整池の機能を損なうことなく、多くの市民が活用できる施設の実現に向けて今後市民の皆様のご意見等を伺いながら、行田県土整備事務所と調整を図ってまいります。</p>
8-1	<p>【人口減少と魅力ある市について】</p> <p>本市は人口が年々減少しているが、市として魅力ある市をつくる対策を伺いたい。</p>	企画政策課	<p>本市では、保育所及び学童保育室の待機児童ゼロの維持をはじめとした子育て環境や学力向上支援教員の配置を含めた教育環境の充実などを通じて、「行田市に住んで良かった」、「住み続けたいまち」の実現のための施策を実施しています。このほか、移住希望者向けにパンフレットを観光案内所などで配布したり、東京都内で行われる大規模な移住希望者向けのイベントに参加したりするなど、本市の魅力をPRしております。</p> <p>また、地域の活性化を図るため、忍城や古代蓮、足袋蔵などの観光資源を十分に活用するとともに、田んぼアートや花手水、はちまんマルシェなどのイベント、さきたま古墳公園内に観光物産施設を含む(仮称)さきたま広場エリアの整備などにより、観光客の誘致を積極的に進めています。</p> <p>今後も新たな施策の展開や既存事業の充実を図ることで、「住み続けたい魅力的なまち」を目指してまいりたいと存じます。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
9-1	<p>【商店街の活性化について】 商店街の活性化について伺いたい。</p>	商工観光課	<p>まずは商店街が、自己資金、人材等により商店街活性化事業を行うことが期待されます。しかしながら、空き店舗の増加や後継者不足など様々な課題に直面しており実現が難しい状況です。</p> <p>市では、商店街組織の健全な運営と活性化のため活用できる県等の支援策についての情報提供を行うとともに、プレミアム付き商品券の発行やキャッシュレス決済によるポイント還元などに加え、起業家支援事業などの空き店舗対策を独自で実施するなど、商店街の活性化に取り組んでおります。</p> <p>地域住民のニーズや社会変化に柔軟に対応し、今後も商店街組織が行う取り組みをサポートしてまいります。</p>
8-2 9-2	<p>人口減少を食い止めるには、「入って来やすいまち」を作るといふ方向で動いた方がよい。例えば、DIYができる空き店舗があることを売りにして、都内から「都心に近い田舎暮らし」をPRする、虐待で悩む人たちの施設を開設し、空室の目立つ団地をそこで働く職員の社宅にするなど。住みやすい環境づくりをすることで活性化につながると思う。</p>	<p>商工観光課 建築開発課 (市長)</p> <p>建築開発課 (建設部長)</p>	<p>空き店舗をなかなか売らない・貸さないといった問題も多く存在します。まずは、市としてその数を把握する必要があると感じており、一部の所有者に対し「売る」「貸す」などの意向調査を行います。最終的にはそれを全体的に実施したいと考えております。</p> <p>地域共生社会といいますが、もう少し身近に集まれる場所が必要です。そのようなところに空き家・空き店舗の活用ができればよいと考えます。どのようにしてそのための場所や協力してくれる人を探していくかが大切だと考えております。</p> <p>空き家には、老朽空き家から健全空き家まで、権利関係が簡単なものから相続問題が複雑なものまでとさまざまな空き家がありますが、今年度は健全空き家を対象に、NPO法人の方などが地域の自治会の集会所や子ども食堂に変えて利活用したいという場合に、一定のリフォーム費用を市が補助するという事業を始めました。初年度なので、よい事例を作りたいと考えております。地元の建設会社や工務店の方々の力を借りて実施したいと考えております。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
10-1	<p>【生活道路の整備について】 令和元年5月17日付けの生活道路の整備を要望します。 (大字堤根、大字樋上地内の市道第9-3 113号線)</p>	道路治水課	<p>生活道路等の整備につきましては、「行田市生活道路等整備事業評価」により通学路の有無や道路の危険性などの現場状況や、整備による事業効果・効率に基づき評価を行い、A、B、C、Dの4つのランクに分けAランクの箇所から実施しております。</p> <p>ご要望の大字堤根、大字樋上地内の市道第9-3 113号線につきましては、事業評価の結果、Bランクの評価に位置付けられております。</p> <p>引き続き、事業評価を踏まえ、市民が安全・安心に利用できるように道路環境整備に鋭意努力してまいります。</p>
10-2	<p>4つのランクについて教えてほしい。要望した道路の整備予定を教えてください。</p>	<p>道路治水課 農政課 (建設部長)</p>	<p>事業評価項目ごとに点数化するものです。すぐに実施する必要性が高いものからA、次にB、C、Dというふうにランク付けをしております。当該道路はBランクです。Bランクといっても多数あり、現場の状況や市内全域のバランスを踏まえて検討・整備を行っていきます。今年実施するか来年実施するかは現時点ではお答えできません。</p> <p>今年度、よりの確な評価制度を実施するため、評価内容の再整備を行い、公平な選定ができるように制度の見直しを図り、7月1日から新たな制度をスタートすることとしました。こちらと併せて、これまで文書・口頭によらず要望を受け付けておりました。しかし、要望件数が非常に多く、すべての要望に対してのお返事ができなかったことから、各自治会長を窓口として文書で要望書という形で受け付けることとし、必ずすべての要望に対してお返事をいたします。ただし、緊急性の高いものや道路の穴埋めなどの軽微なものについては、今までどおり口頭で受け付けます。なお、詳しくは、市報「ぎょうだ」6月号や市ホームページでご確認ください。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
		道路治水課 農政課 (副市長)	<p>これまでいただいていた要望については、新しい評価制度の基準に照らして、再評価いたします。基本的に再度提出していただく必要はありませんが、当時と状況などに変化が生じておりましたら、再度ご提出ください。</p>
11	<p>【U字溝の設置について】 以下の箇所にU字溝の設置を要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行田市大字樋上字鴻地281他 ・行田市大字堤根字上342他 ・行田市大字渡柳字神明前1286他 	農政課	<p>農業用水、排水路整備につきましては、「行田市生活道路等整備事業評価」により透明性や公平性を確保し、優先度の高い箇所(Aランク)から実施しております。</p> <p>現在、用排水路整備の評価件数は、Aランク15件、Bランク35件、Cランク32件、Dランク5件の計87件あり、Aランクの箇所から計画的に整備を進めているところです。</p> <p>要望の樋上字鴻池281先の箇所につきましては、平成27年度に地域から口頭の要望(令和4年事業評価Cランク)があり、堤根字上342先及び渡柳字神明前1286先のU字溝の設置は新規要望箇所となりますことから、来年度の事業評価を予定しています。</p> <p>引き続き、再要望箇所及び新規要望箇所につきまして、現地を確認し事業評価を踏まえ、用水不足の解消や用排水の維持管理の低減が図れるよう農業水路整備を進めてまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
12-1	<p>【自治会の統合について】</p> <p>自治会の統合について市から要望されているが、自治会独自の再編折衝は難しく市がリーダーシップを取って実施してほしい。</p>	地域活動推進課	<p>自治会運営におきましては、少子高齢化等の影響により、地域活動の停滞や役員の担い手が不足する等の問題が生じており、市といたしましては、自治会組織の活性化を喫緊の課題として自治会連合会と連携しながら様々な取組みを実施し、現在、その課題解決に向けた取組みの一つとして、連合会との意見交換において、自治会の統合や再編成が挙げられているところでございます。</p> <p>自治会の統合等において、当事者間だけでは問題解決の難しい事例等もあることは認識しており、市といたしましても、各種情報提供や話し合いの場への参加等、積極的に支援を実施しております。何かお困りごと等がありましたら、ご相談ください。</p>
12-2	<p>①「各種情報提供や話し合いの場への参加等、積極的に支援を実施していく」とあるが、具体的にどのようなことを行っているのか。</p> <p>②自治会によって人員の規模も活動の内容も異なるため、具体的に進めるためのマスタープラン(スケジュールや内容など)を示すなど、市にリーダーシップをとってほしい。</p>	<p>地域活動推進課 (副市長)</p>	<p>①自治会への補助金は、経年するごとに支給割合が少なくなるようになっております。学校の通学の問題、自治会の財産や資金の問題などそれぞれの事情があると聞いております。自治会同士で話し合いを始める際に、市職員が同席しどのように問題を解決していけばよいか、ケースごとに考えていきたいと思っております。</p> <p>②自治会における諸問題を解決するためにこのたび統合に向けての口火を切ったところです。今後、地区連会長が集まる機会などを捉え、皆様が心配なく進めていけるような形で提示していきたいと考えております。</p>
		<p>地域活動推進課 (市長)</p>	<p>いくつか検討が始まっている自治会もあります。50世帯以下が38自治会あり、100世帯以下が83自治会あるので、およそ半数が100世帯以下ということになります。後継者問題もあり、これから解消していきたいですが、最終目標は100自治会程度が望ましいかと考えます。自治会によって事情が異なるので、一概に世帯数だけで考えるのではなく、そのようなところも加味しながら、市からも何か提案できればよいと思っております。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
13-1	<p>【公共施設のトイレについて】</p> <p>市の公共施設(さきたま古墳公園や古代蓮の里など)のトイレが汚い。観光地化をするならば、公共のトイレが他市に比べて非常にきれいと言われるような特徴を作ってほしい。</p>	<p>企画政策課 (総合政策部長)</p>	<p>トイレについては、要望が多く寄せられており課題であると感じています。しかし、公共施設にかかる予算は、例えば「もう崩れそうだからここを早くやらないとならない」といった「安全・安心」にかかる部分がどうしても優先されます。それがまず前提にあるものの、その中に「うるおい」のようなものも欲しいなということで、全体を見ながら考えていく必要があると考えております。</p>
13-2	<p>どこにもないようなきれいなトイレにすることで、「魅力ある行田」の創出につながる。</p>	<p>企画政策課 商工観光課 (総合政策部長)</p>	<p>そのような考え方があるというのは、承知をしています。トイレについては、観光施策と連動させていくものでもありますので、いただいたご意見を観光部局に伝えてまいります。</p>
13-3	<p>2～3年前に産業文化会館に行った際に、トイレの手洗い水栓が老朽化していた。穴が開いていたので危ないと思った。</p>	<p>生涯学習スポーツ課 (総合政策部長)</p>	<p>現地を確認の上、危険なものについては、早急に対応いたします。</p>
		<p>【後日対応】 生涯学習スポーツ課 企画政策課</p>	<p>翌日、産業文化会館トイレの手洗い水栓を確認しましたところ、交換済でした。令和3年度までに新型コロナウイルス感染症対策の一環として、当該箇所を含め、市の所有する施設(行田グリーンアリーナ、各地域公民館等)で非接触の自動水栓への交換工事を実施しました。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
14	【ウクライナ避難民の受け入れについて】 ウクライナ避難民の受け入れはどのように行うのか。	地域活動推進課 (総合政策部長)	市営住宅への入居支援(半年間家賃無料)、行田市社会福祉協議会と連携して生活に必要な物資などの支援の他、介護や保育などの各種福祉サービスが必要な方に対して総合対応窓口を通じた支援を行ってまいります。